第二講『無名草子』（物語評論）

次の文章は、老尼がある邸に泊まった折、その家の女房たちの話し合うのを聞いて記したとされる『無名草子』の一節です。これを読んで、後の設問に答えなさい。

「（前略）①繰り言のやうにははべれど、尽きもせずうらやましくめでたくはべるは、大斎院より上東門院へ、『つれづれ慰みぬべき物語やさぶらふ』と尋ね参らせさせたまへりけるに、紫式部を召して、『何をか参らすべき』と②おほせられければ、『③めづらしきものは何かはべるべき。新しく作りて参らせたまへかし』と申しければ、『作れ』とおほせられけるを、うけたまはりて、『［Ａ］』を作りたりけるとこそ、いみじくめでたく［Ｂ］」と言ふ人はべれば、

また、「いまだ宮仕へもせで里にはべりける折、かかるもの作り出でたりけるによりて、召し出でられて、それゆゑ紫式部といふ名はつけたり、とも申すは、いづれかまことにてはべらむ。

その人の日記といふものはべりしにも、『参りけるはじめばかり、恥づかしうも、心にくくも、また添ひ苦しうもあらむずらむと、おのおの④思へりけるほどに、いと思はずに⑤ほけづき、かたほにて、一文字をだに引かぬさまなりければ、

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

かく思はず、と友達ども思はる』などこそ見えてはべれ。

君の御ありさまなどをば、いみじくめでたく⑥思ひきこえながら、つゆばかりも、かけかけしく慣らし顔に聞こえ出でぬほどもいみじく、また、皇太后宮の御事を、限りなくめでたく聞こゆるにつけても、愛敬づき、なつかしくさぶらひけるほどのことも、君の御ありさまもなつかしくいみじくおはしまししし、など聞こえあらはしたるも、⑦心に似ぬ体にてあめる。かつはまた、⑧御心柄なるべし。」など言へば、（以下略）

注

大斎院…選子内親王

上東門院・皇太后宮…ともに彰子のこと

君…藤原道長

問一　［A］に入れるべき作品として最も適当と思われるものを、次の中から一つ選びなさい。

ア　発心集　　イ　枕草子　　ウ　狭衣物語　　エ　源氏物語　　オ　紫式部日記

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　B に入れるのに最も適当と思われるものを、次の中から一つ選びなさい。

ア　はべらず　　イ　はべら　　ウ　はべり　　エ　はべる　　オ　はべれ

問三　傍線部①「繰り言」とあるが、ここでの意味として最も適当と思われるものを、次の中から一つ選びなさい。

ア　恨みごとを言うこと　　イ　ぐちを言うこと
ウ　同じことを繰り返して言うこと　　エ　ふと思い出して言うこと
オ　過去をふりかえって言うこと

問四　傍線部②「おほせられければ」の主語として最も適当と思われるものを、次の中から一つ選びなさい。

ア　大斎院　　イ　上東門院　　ウ　紫式部　　エ　友達ども　　オ　君

問五　傍線部③「めづらしきものは何かはべるべき」の意味として最も適当と思われるものを、次の中から一つ選びなさい。

ア　目新しいものが何かありますか　　イ　すばらしいものがどうしてここにありましょうか
ウ　目新しいものは何もございません　　エ　すばらしいものとは何でしょうか
オ　目新しいものはどんな物にいたしましょうか

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問六　傍線部④「思へりける」の主語として最も適当と思われるものを、次の中から一つ選びなさい。

ア　大斎院　　イ　上東門院　　ウ　紫式部　　エ　友達ども　　オ　君

問七　傍線部⑤「ほけづき、かたほにて」の意味として最も適当と思われるものを、次の中から一つ選びなさい。

ア　ぼんやりしていて、未熟で　　イ　のんびりしていて、周りも気にかけない様子で
ウ　どきどきしていて、脇ばかりみて　　エ　落ち着かなくて、うろうろして
オ　遠慮がちにして、脇の方にいて

問八　傍線部⑥「思ひきこえながら」の主語として最も適当と思われるものを、次の中から一つ選びなさい。

ア　大斎院　　イ　上東門院　　ウ　紫式部　　エ　友達ども　　オ　君

問九　傍線部⑦「心に似ぬ体」のここでの意味として最も適当と思われるものを、次の中から一つ選びなさい。

ア　皇太后宮や君の性格には似つかわしくないこと
イ　紫式部の皇太后宮への思いとは一致しない有様
ウ　紫式部の心中に異ならない言葉
エ　紫式部の性格には似つかわしくない様子
オ　紫式部の性格には皇太后様や君の有様は似つかわしくない様子

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十　傍線部⑧「御心柄」の説明として最も適当と思われるものを、次の中から一つ選びなさい。

ア　紫式部の本心　　　　イ　皇太后宮と君の本心

ウ　皇太后宮と君の性格　　エ　紫式部の性格

オ　大斎院の本心

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二講　『無名草子』（物語評論）

①　『発心集』の作者を次の中から選べ。

ア　清少納言　　イ　吉田兼好　　ウ　紫式部　　エ　西行　　オ　鴨長明

②　「かたほ」の反対語を次の中から選べ。

ア　まほ　　イ　せほ　　ウ　いくほ　　エ　かたもひ　　オ　かたは

③　紫式部は誰に仕えた女房か。次の中から最も適当なものを選べ。

ア　定子　　イ　長子　　ウ　詮子　　エ　彰子　　オ　大斎院

④　定子の父親は誰か。次の中から最も適当なものを選べ。

ア　道長　　イ　道隆　　ウ　道綱　　エ　道兼　　オ　兼家

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講

〈解答〉

問一　エ　**問二**　オ　**問三**　ウ　**問四**　イ　**問五**　ウ

問六　エ　**問七**　ア　**問八**　ウ　**問九**　エ　**問十**　ウ

〈現代語訳〉

「（前略）同じことを繰り返し言うようでございますが、尽きることなくうらやましく素晴らしゅうございますことは、大斎院から上東門院（彰子）に、『退屈を慰めることができる物語がございませんか』とお尋ね申し上げなさった時に、（上東門院は）紫式部をお呼びになって、『何を差し上げたらよいだろうか』とおっしゃったので、（紫式部は）『目新しいものは何かございますでしょうか、何もございません。新しく作って（上東門院が大斎院に）差し上げなさいませ』と（上東門院に）申し上げたところ、（上東門院は）『（あなたが）作りなさい』とお命じになったのを、（紫式部が）承って、『源氏物語』を作ったということは、とても素晴らしいことでございます」という人がありますと、

また、（一方の人は）「（紫式部が）まだ宮仕えもしないで生家におりました時、このようなもの（＝『源氏物語』）を作り出したことによって、（上東門院のもとに）召し出されて、そのために紫式部という名前がついたのだ、とも申しますのは、どちらが本当なのでしょうか。

その人の日記（＝『紫式部日記』）というものがありましたのにも、『（私が）出仕した初めのころは、気が置かれ、おくゆかしく、またそばにいたら気詰まりであろうと、それぞれ（周囲の女房たちが私のことを）思っていたところ、（実際の私は）意外にもぼんやりしていて、未熟で、一という文字さえ書けない様子で、こんなふうに思わなかった、と友達たちは自然と思う』などと書いています。

道長公のご様子などを、とても素晴らしく思い申し上げながらも、少しも、いかにも気のある様子でなれなれしい態度で書き申し上げたりしないところも素晴らしく、また、皇太后宮（上東門院）の御事を、このうえなく素晴らしいと書き申し上げ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

るにつけても、愛らしく、親しくお仕えした当時の（上東門院の）ご様子も、道長公のご様子も親しみやすくもあり立派でもいらっしゃった、などと申し上げているのも、（紫式部の控えめな）性格には似つかわしくない様子であるようです。（けれど、これは）一方では、道長公や上東門院のご性格でもあるのでしょう。」と言うと、（以下略）

〔重要単語〕

○つれづれ【徒然】…①手持ちぶさたなさま。**退屈なさま。**②どうしようもなくひとり物思いに沈むさま。

※形容動詞「つれづれなり」も同意。

○こころにくし【心憎し】…①**奥ゆかしい。**②恐るべきだ。③不審だ。

※「ねたましく感じるほど相手がすぐれている＝プラスのイメージ」が原義。

○かたほ【偏・片秀】…**不十分だ。未熟だ。**↕**まほ**【真秀】…十分だ。まともだ。

○なつかし【懐かし】…①**心がひかれる。**慕わしい。②**親しみやすい。**③昔が思い出されて、慕わしい。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題解答　第二講　『無名草子』（物語評論）

〔解説〕

① **『発心集』**の作者は**鴨長明**。よって、正解はオ。鴨長明の他の知っておくべき作品は『方丈記』と『無名抄』。『方丈記』は「三大随筆」の一つ。
「三大随筆」とは、**『枕草子』**（＝**清少納言**）・**『方丈記』**（＝**鴨長明**）・**『徒然草』**（＝**吉田兼好**）。

② 「**かたほ**」（＝**不十分だ。未熟だ**）の反対語は「**まほ**」（＝十分だ。まともだ）。よって、正解はア。
ちなみにオの「**かたは**」は不十分という意味の**同意語**。

③ **紫式部**は、中宮**彰子**に仕えた女房。よって、正解はエ。ちなみに**清少納言**は、中宮**定子**に仕えた女房である。

④ **定子**の父親は**道隆**。よって、正解はイ。ちなみに**彰子**の父親は**道長**である。

〔解答〕

①　オ　②　ア　③　エ　④　イ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。